活用ガイド
再セットアップ編

PC98-NX シリーズ

Mate
Mate J
VersaPro
VersaPro J

（Windows 7 Professionalインストールモデル）

このマニュアルは、再セットアップ方法について説明しています。

このマニュアルは、フォルダやファイル、ウィンドウなど、Windowsの基本操作に必要な用語とその意味を理解していること、また、それらを操作するためのマウスの基本的な動作がひと通りでき、Windowsもしくは添付のアプリケーションのヘルプを使って操作方法を理解、解決できることを前提に本機固有の情報を中心に書かれています。

もし、あなたがパソコンに初めて触れるのであれば、上記の基本事項を関連説明書などでひと通り経験してから、このマニュアルをご利用になることをおすすめします。

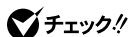
選択アプリケーション、本機の仕様については、お客様が選択できるようになっているため、各モデルの仕様にあわせてお読みください。

仕様についての詳細は『はじめにお読みください』の「付録　機能一覧」をご覧ください。

2009年 12月 初版

このマニュアルの表記について

◆ このマニュアルで使用している記号

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。

記号	意味
チェック!!	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。また、全体に関する注意については、「注意事項」としてまとめて説明しています。
メモ	利用の参考となる補足的な情報をまとめています。
参照	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。
HD	ハードディスク内の「再セットアップ用データ」使用時のみ可能な技能や操作、注意について説明します。
DVD	「再セットアップ用ディスク」使用時のみ可能な機能や操作、注意について説明します。

◆ このマニュアルで使用している表記の意味

表記	意味
本機、本体	このマニュアルの対象機種を指します。 特に周辺機器などを含まない対象機種を指す場合、「本体」と表記します。
ブルーレイディスクドライブ	本機内蔵のBDライターを指します。
光学ドライブ	DVD-ROMドライブ、DVDスーパーマルチドライブ、またはブルーレイディスクドライブを指します。書き分ける必要のある場合は、そのドライブの種類を記載します。
ハードディスク	ハードディスクドライブ、またはSSD(ソリッドステートドライブ)を指します。 書き分ける必要のある場合は、そのドライブの種類を記載します。
Office Personal 2007モデル	Office Personal 2007をインストールしている状態でご購入いただいたモデルを指します。
Office Personal 2007 with PowerPoint 2007モデル	Office Personal 2007 with PowerPoint 2007をインストールしている状態でご購入いただいたモデルを指します。
Office Professional 2007モデル	Office Professional 2007をインストールしている状態でご購入いただいたモデルを指します。

用語	説明
Office 2007モデル	Office Personal 2007モデル、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007モデル、またはOffice Professional 2007モデルを指します。
RAIDモデル	ミラーリング(RAID 1)機能がご利用いただけるモデルを指します。
Standby Rescue Multiモデル	Standby Rescue Multiを添付しているモデルを指します。
CDレスモデル	DVD-ROMドライブ、DVDスーパーマルチドライブ、またはブルーレイディスクドライブがない状態でご購入いただいたモデルを指します。
DVD-ROMドライブモデル	DVD-ROMドライブを搭載、または添付しているモデルを指します。
DVDスーパーマルチドライブモデル	DVDスーパーマルチドライブを搭載、または添付しているモデルを指します。
ブルーレイディスクドライブモデル	ブルーレイディスクドライブを搭載しているモデルを指します。
増設ハードディスクモデル	ハードディスクを2台搭載しているモデルを指します。
2007 Office system SP1 ディスク	「2007 Office system SP1 ディスク」、または「2007 Office system SP1 CD-ROM」を指します。
Roxio Creator LJB ディスク	「Roxio Creator LJB ディスク」、または「WinDVD for NEC CD-ROM/Roxio Creator LJB CD-ROM」を指します。
「スタート」ボタン	画面左下にある ボタンを指します。
「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「メモ帳」	「スタート」ボタンをクリックし、表示されたスタートメニューから「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「メモ帳」を順にクリックする操作を指します。
【　】	【　】で囲んである文字はキーボードのキーを指します。 【Ctrl】+【Y】と表記してある場合は、【Ctrl】キーを押したまま【Y】キーを押すことを指します。
『　』	『　』で囲んである文字はマニュアルの名称を指します。
BIOSセットアップユーティリティ	本文中に記載されているBIOSセットアップユーティリティは、ユーティリティ画面上では「BIOS SETUP UTILITY」、「Phoenix - AwardBIOS CMOS Setup Utility」、または「Phoenix Secure Core(tm) Setup Utility」などと表示されます(画面上の表記はお使いの機種により異なります)。

◆ このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows、Windows 7	Windows® 7 Professional
Office Personal 2007	Microsoft® Office Personal 2007（Microsoft® Office Word 2007、Microsoft® Office Excel® 2007、Microsoft® Office Outlook® 2007）
Office Personal 2007 with PowerPoint 2007	Microsoft® Office Personal 2007（Microsoft® Office Word 2007、Microsoft® Office Excel® 2007、Microsoft® Office Outlook® 2007、Microsoft® Office PowerPoint® 2007）
Office Professional 2007	Microsoft® Office Professional 2007（Microsoft® Office Word 2007、Microsoft® Office Excel® 2007、Microsoft® Office Outlook® 2007、Microsoft® Office PowerPoint® 2007、Microsoft® Office Publisher 2007、Microsoft® Office Access 2007）

ご注意

（1） 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
（2） 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3） 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
（4） 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
（5） 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
（6） 本機の内蔵ハードディスクにインストールされている Windows 7および本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
（7） ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
（8） ハードウェアの保守情報をセーブしています。
（9） 本書に記載されている内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

このマニュアルの構成・読み方

ハードディスク、または「再セットアップ用ディスク」に格納されている「再セットアップ用データ」を使用して本機のシステムを工場出荷時の状態に復元する方法などを説明しています。

必ず「PART1　再セットアップする」の「システムを修復する」、「再セットアップについて」、および「再セットアップの準備」を読んだ後に、再セットアップ方法を選択し、該当するページをご覧ください。
また、このマニュアルは検索性を高めるため、目次の次に索引を記載しています。
索引に載せてある用語は、注意していただきたい内容（チェック!!）、メモ（メモ）を検索するのに都合の良い言葉を選んでいます。

目 次

PART 2

索　引

英数字

サ行

タ行

ハ行

再セットアップする

Windowsを再セットアップする方法について説明します。

この章の読み方

必ず「システムを修復する」、「再セットアップについて」、および「再セットアップの準備」を読んだ後に、再セットアップ方法を選択し、該当するページをご覧ください。

この章の内容

システムを修復する

ここでは、システム構成を変更したことで、正常にシステムが起動しなくなった場合の対処方法について説明しています。

システムの修復方法には、次の方法があります。どの方法を使うかはシステムの状況により異なりますので、次の順番で簡単な方法から試してください。

セーフモードを利用してシステムを修復(p.15)

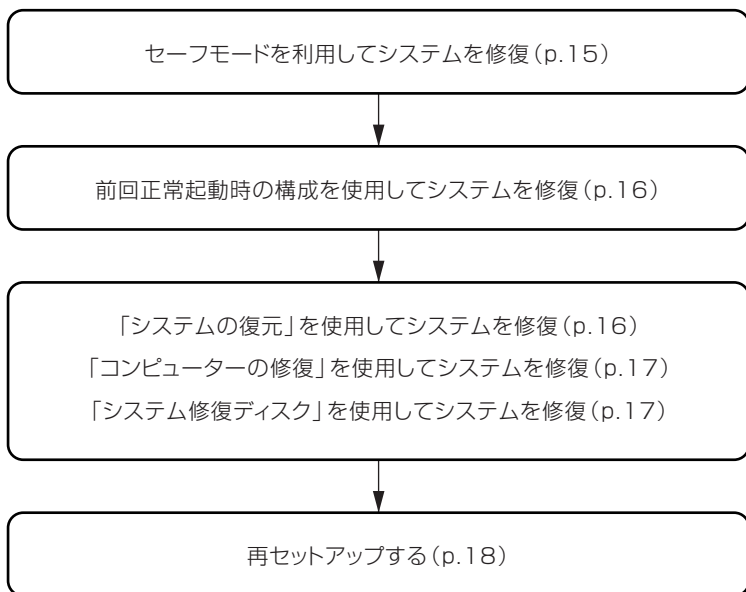
↓

前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復(p.16)

↓

「システムの復元」を使用してシステムを修復(p.16)
「コンピューターの修復」を使用してシステムを修復(p.17)
「システム修復ディスク」を使用してシステムを修復(p.17)

↓

再セットアップする(p.18)

使用しないアプリケーションを削除したい場合や、削除したアプリケーションを再追加したい場合、また、Windows を再セットアップした後にアプリケーションを追加したい場合は、『活用ガイド』の「アプリケーションのインストール/アンインストール」、または『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」をご覧ください。

チェック!!

いったん電源を切った後で電源を入れ直す場合は、電源を切ってから5秒以上間隔をあけて電源を入れてください。また、電源コードを抜いたり、ブレーカーなどが落ちて電源が切れた場合は、電源コードを抜いた状態で90秒以上間隔をあけてから、再度電源コードを接続し、電源を入れてください。

セーフモードで起動する

セーフモードはWindowsの正常な起動を行えるようにするための特殊な診断モードです。以下の手順でセーフモードを起動させてください。

1 **本機の電源を入れる**

2 **「NEC」ロゴの画面が表示されたら、「詳細ブート　オプション」が表示されるまで、数回【F8】を押す**

3 **「詳細ブート　オプション」が表示されたら、「セーフモード」を選択し、【Enter】を押す**

Windowsのログオン画面が表示された場合は、ユーザー名を選択、パスワードの入力画面が表示された場合は、パスワードを入力してください。

本機がセーフモードで起動します。

前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復する

システムの構成を変更した後で、Windowsが起動できなくなった場合は、前回正常起動時の構成を使用して、問題を解決することができます。

チェック!!

- 前回システムが正常に起動したとき以降に行った構成の変更は、すべて破棄されます。
- システムの構成を変更し、その後2回以上Windowsを正常に起動した場合は、前回正常起動時の構成を使用しても、変更前のシステムの構成に戻すことはできません。

前回正常起動時の構成を使用する場合は以下の手順で行います。

1 **本機の電源を入れる**

2 **「NEC」ロゴの画面が表示されたら、「詳細ブート　オプション」が表示されるまで、数回【F8】を押す**

3 **「詳細ブート　オプション」が表示されたら、「前回正常起動時の構成(詳細)」を選択し、【Enter】を押す**

Windowsのログオン画面が表示された場合は、ユーザー名を選択、パスワード入力画面が表示された場合は、パスワードを入力してください。

これで、前回正常起動時の構成を使用してWindows 7が起動します。

「システムの復元」を使用してシステムを修復する

「復元ポイント」と呼ばれるバックアップデータを利用して、システムを復元します。
Windowsが正常に起動しない場合は、セーフモードで起動した後、「システムの復元」を行ってください。

チェック!!

セーフモードでは、復元ポイントの作成はできません。

「システムの復元」、「復元ポイント」の詳細については「Windowsのヘルプ」をご覧ください。

「コンピューターの修復」を使用してシステムを修復する

ファイルなどの破損により、セーフモードや前回正常起動時の構成を使用してもWindowsが正常に起動しない場合は、コンピューターの修復を使用して、問題を解決することができます。

チェック!!

あらかじめ、Windowsのヘルプの「Windows 7のシステム回復オプションとは」をご覧ください。問題が発生した場合に備えて印刷しておくことをおすすめします。

「コンピューターの修復」を使用する場合は以下の手順で行います。

1. **本機の電源を入れる**
2. **「NEC」ロゴの画面が表示されたら、「詳細ブート　オプション」が表示されるまで、数回【F8】を押す**
3. **「詳細ブート　オプション」が表示されたら、「コンピューターの修復」を選択し、【Enter】を押す**

   システム回復オプションが起動します。

「コンピューターの修復」の使用方法についてはWindowsのヘルプをご覧ください。

「システム修復ディスク」を使用してシステムを修復する

ファイルなどの破損により、セーフモードや前回正常起動時の構成を使用してもWindowsが正常に起動しないときに備え、「システム修復ディスク」を作成し、トラブルが発生したときは「システム修復ディスク」を使用してシステムを修復してください。「システム修復ディスク」の作成/使用方法については、Windowsのヘルプをご覧ください。

チェック!!

この作業にはCD-Rに書き込み可能なドライブが必要です。
DVD-ROMドライブモデル、またはCDレスモデルをお使いの方は、別売のオプションを使用してください。

再セットアップについて

再セットアップを行うと、本機のシステムを復旧させることができますがハードディスクに保存したファイルは消えてしまいます。時間がかかる作業なので再セットアップが必要かどうかを確認し、以下の注意事項をお読みになってから再セットアップの準備へ進んでください。

再セットアップとは

本機のシステムが壊れてしまったときなどに、ハードディスク、または「再セットアップ用ディスク」に格納されている「再セットアップ用データ」をもとに、工場出荷時と同じ状態に戻す作業のことです。

再セットアップが必要になるとき

次のようなとき、本機の再セットアップが必要です。

1. トラブルによるシステムの復旧をするため

・電源を入れても電源ランプは点灯するが、Windowsが動作しない。
・ハードディスク内のプログラムが正常に動作しない。
・システムの修復を行っても問題が解決できない。
・セーフモードで起動しても問題が解決できない。

2. ハードディスクの内容を工場出荷時の状態に戻すため

再セットアップの種類

再セットアップには「ハードディスクから再セットアップ」と「DVDから再セットアップ」があり、それぞれに「標準再セットアップする」と「Cドライブのみを再セットアップする」があります。
ここでは、それぞれの再セットアップ方法の注意事項やオプションについて説明します。

HD ◎ハードディスクから再セットアップ

ハードディスク内の「再セットアップ用データ」を使用して、本機を再セットアップします。

チェック!!

- **ハードディスク内にある「再セットアップ用データ」を削除することはできません。**
- **ハードディスクをダイナミックディスクにしている場合、この方法で再セットアップできません。**

DVD ◎DVDから再セットアップ

ハードディスクから再セットアップができない場合には「再セットアップ用ディスク」を使用して再セットアップすることもできます。
DVD-Rに書き込み可能な光学ドライブを搭載したモデルの場合は、ハードディスク内の「再セットアップ用データ」を使用して「再セットアップ用ディスク」を作成することができます。
詳しくは、「PART2　付録」の「「再セットアップ用ディスク」を作成/購入する」(p.36)をご覧ください。

チェック!!

「再セットアップ用ディスク」は、セレクションメニューで「再セットアップ用ディスク」を選択した場合のみ添付されています。なお、CDレスモデルをお使いの方で「再セットアップ用ディスク」を使用して再セットアップする場合は、DVD-ROMの読み込み可能な別売のドライブが必要です。

「標準再セットアップする」と「Cドライブのみを再セットアップする」

チェック!!

Standby Rescue Multiモデルで残しておきたいデータが2台目の内蔵ハードディスクにある場合は、『活用ガイド』、または『活用ガイド　ソフトウェア編』の「メンテナンスと管理」にある「再セットアップ前の注意事項」をご覧ください。

◎標準再セットアップする

1台目の内蔵ハードディスクを工場出荷時と同じ状態に戻します
2台目の内蔵ハードディスクを増設している場合、そのドライブの内容は保持されます(※)。初心者の方やハードディスクについて詳しくご存知でない方は、必ずこの方法で再セットアップしてください。

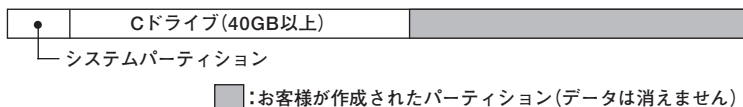
※ Standby Rescue Multiモデルをお使いの場合、再セットアップ前に2台目の内蔵ハードディスクを未使用領域にする必要があります。

◎Cドライブのみを再セットアップする

1台目の内蔵ハードディスクにあるお客様が作成されたパーティションのデータを残したまま再セットアップする場合に使用します。

●	Cドライブ(40GB以上)	

└ システムパーティション

■:お客様が作成されたパーティション(データは消えません)

工場出荷時の状態からCドライブを分割した場合、お客様が作成されたパーティションはフォーマットされず、データを残しておくことができます。
2台目の内蔵ハードディスクを増設している場合、そのドライブの内容は保持されます(※)。

※ Standby Rescue Multiモデルをお使いの場合、再セットアップ前に2台目の内蔵ハードディスクを未使用領域にする必要があります。

チェック!!

- Cドライブを分割していない場合は、「標準再セットアップ」を行ってください。
- Cドライブの容量が40GB未満に設定された状態では、「Cドライブのみを再セットアップする」を行うことはできません。

◎オプション

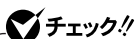
■2台目の内蔵ハードディスクの内容を削除（Standby Rescue Multiモデル用）

チェック!!

Standby Rescue Multiモデルのみ使用できます。
対象モデルでない場合は、使用しないでください。

Standby Rescue Multiモデルで2台目の内蔵ハードディスクにフォーマット済みの領域が確保されていると、正しく再セットアップできません。
2台目の内蔵ハードディスクの必要なデータをバックアップした後、2台目の内蔵ハードディスクドライブを未使用領域にしてから、再セットアップしてください。

■2台目の内蔵ハードディスクのフォーマット

チェック!!

増設ハードディスクモデルのみ使用できます。
対象モデルでない場合は、使用しないでください。

再セットアップでは2台目の内蔵ハードディスクはフォーマットされません。2台目の内蔵ハードディスクをフォーマットしたい場合は、再セットアップモード選択画面で「2台目の内蔵ハードディスクのフォーマット」を選択してください。

DVD ■ハードディスクのデータ消去
本機のハードディスクのデータを消去します。
ハードディスクに一度記録されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、フォーマットしても復元できる場合があります。このメニューを選択すると、通常（OS標準のハードディスクのフォーマット機能）では消去できないハードディスク上のデータを消去し、復元ツールで復元されにくくします。
本機を譲渡、または廃棄する場合にご利用ください。
使用方法については、「PART2　付録」の「ハードディスクのデータ消去」（p.38）をご覧ください。

再セットアップの準備

ここでは、再セットアップをする前の必要な準備について説明しています。再セットアップする前に必ずお読みください。

必要なものをそろえる

再セットアップには少なくとも次のものが必要です。作業に入る前にあらかじめ準備しておいてください。

・『はじめにお読みください』

〈Office Personal 2007モデルをお使いの場合〉

- 「Office Personal 2007」のCD-ROM
- 「2007 Office system SP1 ディスク」

〈Office Personal 2007 with PowerPoint 2007モデルをお使いの場合〉

- 「Office Personal 2007」のCD-ROM
- 「Office PowerPoint 2007」のCD-ROM
- 「2007 Office system SP1 ディスク」

〈Office Professional 2007モデルをお使いの場合〉

- 「Office Professional 2007」のCD-ROM
- 「2007 Office system SP1 ディスク」

〈DVDスーパーマルチドライブモデル、またはブルーレイディスクドライブモデルをお使いの場合〉

- 「Roxio Creator LJB ディスク」

「再セットアップ用ディスク」を使用して再セットアップする場合は、さらに次のものを準備しておいてください。

- 「アプリケーション/マニュアルディスク」
- 「再セットアップ用ディスク」

チェック!!

- CDレスモデルをお使いの方で「再セットアップ用ディスク」を使用して再セットアップする場合は、DVD-ROMの読み込み可能な別売の光学ドライブが必要です。
- 「再セットアップ用ディスク」が添付されていないモデルをお使いの場合は、「PART2　付録」の「「再セットアップ用ディスク」を作成/購入する」(p.36)をご覧になり作成/購入してください。

ハードディスクのデータのバックアップをとる

再セットアップを行う前に残しておきたいデータがある場合は、データのバックアップをとってから再セットアップしてください。

チェック!!

- マルチユーザーでお使いの場合は、それぞれのユーザー名でログオンし、データのバックアップをとってください。
- Standby Rescue Multiモデルで残しておきたいデータが2台目の内蔵ハードディスクにある場合は、『活用ガイド』、または『活用ガイド　ソフトウェア編』の「メンテナンスと管理」にある「再セットアップ前の注意事項」をご覧ください。

使用環境の設定を控える

再セットアップを行うとBIOSセットアップユーティリティの設定やネットワークの設定など、再セットアップ後にはすべて工場出荷時の状態に戻ってしまいます。再セットアップ後も現在と同じ設定で使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

BIOSセットアップユーティリティの設定値を元に戻す

再セットアップを行う前にBIOSセットアップユーティリティの設定値を工場出荷時の状態に戻してください。

参照 工場出荷時の設定値に戻す方法→『活用ガイド』、または『活用ガイド　ハードウェア編』の「システム設定」

機器の準備をする

次の準備を行ってください。

◎無線機能をオフにする

無線LANやBluetoothなどの無線機能が内蔵されているモデルの場合は、無線機能がオフになっていることを確認してください。無線機能がオンになっている場合は、再セットアップの前にオフにしてください。

◎本機の電源を切る

スリープ状態や休止状態になっている場合は、復帰してから電源を切ってください。

◎周辺機器を取り外す

『はじめにお読みください』をご覧になり周辺機器を取り外して、ご購入時と同じ状態にしてください(光学ドライブを除く)。

チェック!!

本機にLANケーブルが接続されている場合は、再セットアップを開始する前にいったん取り外してください。
デュアルディスプレイ機能を使用している場合は、2台目のディスプレイを取り外し、ご購入時と同じ状態にしてください。

◎光学ドライブを使える状態にする

Office 2007モデルをお使いの方、DVDスーパーマルチドライブ、またはブルーレイディスクドライブモデルをお使いの方、または「再セットアップ用ディスク」を使用して再セットアップする方は、再セットアップを始める前に光学ドライブを使える状態にしておいてください。

チェック!!

CDレスモデルで別売の光学ドライブを使用して再セットアップを行う場合は、本機に添付の「本機をお使いの方へ」をご覧になり、BIOSセットアップユーティリティの設定を変更してから再セットアップを開始してください。
なお、再セットアップが終了したら、元の状態に戻してください。

◎ACアダプタを接続する

VersaPro、VersaPro Jをお使いの場合、バッテリ駆動では再セットアップすることはできません。必ずACアダプタを接続してください。

再セットアップ時の注意(共通)

再セットアップするときには必ず次の注意事項を守ってください。

◎再セットアップする前にデータのバックアップをとる

ハードディスクにデータなどを保存している場合は、必ずバックアップをとってから再セットアップを行ってください。

◎マニュアルに記載されている手順通りに行う

再セットアップするときは、必ずこのマニュアルに記載されている手順を守ってください。手順を省略したり、画面で指示された以外のキーを押したり、スイッチの操作をすると、正しく再セットアップできないことがあります。

チェック!!

「コントロールパネル」の「回復」にある「高度な回復方法」の「Windows再インストール」は本機では使用できません。本機の再セットアップはこのマニュアルに記載されている手順で行ってください。

◎ダイナミックディスクについて

・ 1台目の内蔵ハードディスクをダイナミックディスクにしている場合はハードディスクから再セットアップすることはできません。「再セットアップ用ディスク」を使用して「標準再セットアップ」を行ってください。

・ 2台目の内蔵ハードディスクをダイナミックディスクにしている場合は必要なデータをバックアップしたあと、2台目の内蔵ハードディスクをベーシックディスクに変更してから再セットアップしてください。Windows上でベーシックディスクに変更できない場合は再セットアップの選択画面で、「2台目の内蔵ハードディスクのフォーマット」を選択するとベーシックディスクに変更できます。

◎電源を入れるとき

手順に従っていったん電源を切った後で電源を入れ直す場合は、電源を切ってから5秒以上間隔をあけて電源を入れてください。また、電源コードを抜いたり、ブレーカーなどが落ちて電源が切れた場合は、電源コードを抜いた状態で90秒以上間隔をあけてから、再度電源コードを接続し、電源を入れてください。

◎再セットアップは途中でやめない

いったん再セットアップを始めたら、再セットアップの作業を絶対に中断しないでください。作業を中断すると故障の原因となります。途中で画面が止まるように見えることがあっても、セットアッププログラムは動作していますので、再セットアップを中断せず、そのままお待ちください。万が一再セットアップの作業を中断してしまった場合は、正しく再セットアップされていない可能性があるので、再セットアップを最初からやり直してください。

◎再セットアップができないとき

「本機では再セットアップすることが出来ません」と表示された場合は、機種情報が書き換わっている可能性があります。弊社修理受付窓口にご相談ください。

参照 『保証規定＆修理に関するご案内』

◎再セットアップ中は長時間放置しない

再セットアップが終了し、いったん電源を切るまで、再セットアップ中でキー操作が必要な画面を含み、本機を長時間放置しないでください。

◎再セットアップ後の状態について

ご購入後にインストールしたアプリケーションや作成されたデータは復元されません。インストールし直してください。また、再セットアップ後に周辺機器の設定はすべて初期状態になります。もう一度設定し直してください。

チェック!!

- Cドライブ以外のドライブにアプリケーションが残っていても、そのアプリケーションは再インストールが必要になる場合があります。再セットアップ後にアプリケーションがうまく動作しなくなった場合は、アプリケーションを再インストールしてみてください。
- お客様の環境によっては、再セットアップ前に割り当てていたドライブ文字またはパスの順番が変わってしまう場合があります。その場合は割り当てを変更してください。

再セットアップ時の注意（Mate、Mate J）

◎RAIDモデルについて

RAIDモデルをご利用の場合は、再セットアップ前に、ミラーリングが正常（Normal）に設定されている必要があります。Windowsの再セットアップ作業に入る前にディスクアレイ情報を確認してください。

チェック!!

ディスクアレイ情報の確認、およびディスクアレイの状態変更方法については、『活用ガイド』の「「Intel® Rapid Strage Technology」について」の「再セットアップ前の注意事項」をご覧ください。

◎Standby Rescue Multiモデルについて

2台目の内蔵ハードディスクにフォーマット済みの領域が確保されていると、正しく再セットアップできません。2台目の内蔵ハードディスクの必要なデータをバックアップした後、2台目の内蔵ハードディスクドライブをすべて未使用領域にしてから、再セットアップしてください。

チェック!!

残しておきたいデータが2台目の内蔵ハードディスクにある場合は、『活用ガイド』、または『活用ガイド　ソフトウェア編』の「メンテナンスと管理」にある「再セットアップ前の注意事項」をご覧ください。

これで「再セットアップ」の準備がすべて整いました。
再セットアップの方法により次の項目に進んでください。

〈ハードディスクから再セットアップする場合〉

「ハードディスクから再セットアップする」（p.30）

〈DVDから再セットアップする場合〉

「DVDから再セットアップする」（p.31）

再セットアップ時の注意(VersaPro、VersaPro J)

バッテリ駆動では再セットアップできません。必ずACアダプタを接続してから再セットアップしてください。

これで「再セットアップ」の準備がすべて整いました。
再セットアップの方法により次の項目に進んでください。

〈ハードディスクから再セットアップする場合〉

「ハードディスクから再セットアップする」(p.30)

〈DVDから再セットアップする場合〉

「DVDから再セットアップする」(p.31)

ハードディスクから再セットアップする

ハードディスク内の「再セットアップ用データ」を使用して、本機を再セットアップします。

ハードディスクから再セットアップする

HD 次の操作を行い、再セットアップを開始してください。

1 **本機の電源を入れる**

2 **「NEC」ロゴの画面が表示されたら、「NEC」ロゴの画面が消え「ファイルを読み込んでいます...」が表示されるまで、【F11】をくり返し押す**

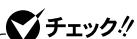
チェック!!

【F11】を押すタイミングが合わないと、再セットアップを開始できません。再セットアップ画面が表示されずに通常のWindowsデスクトップ画面が表示されてしまった場合は、いったん電源を切り、【F11】を押すタイミングを変えて手順1からやり直してください。

次に標準再セットアップする場合は、「標準再セットアップする」(p.32)へ、Cドライブのみを再セットアップする場合は、「Cドライブのみを再セットアップする」(p.34)へ進んでください。

DVDから再セットアップする

「再セットアップ用ディスク」を使用して、本機を再セットアップします。

DVDから再セットアップする

DVD

必ず本機の電源が切れている状態から作業を行ってください。

1 本機の電源を入れる

2 電源ランプがついたら、すぐに「アプリケーション/マニュアルディスク」を光学ドライブにセットする

3 「Press any key to boot from CD or DVD...」と表示されたら、何かキーを押す

4 「Windows再セットアップ」画面が表示されたら、「再セットアップ用ディスクを使用して再セットアップを開始する」を選択し、【Enter】を押す

次に標準再セットアップする場合は、「標準再セットアップする」(p.32)へ、Cドライブのみを再セットアップする場合は、「Cドライブのみを再セットアップする」(p.34)へ進んでください。

標準再セットアップする

標準再セットアップする

チェック!!

Standby Rescue Multiモデルをお使いの場合、2台目の内蔵ハードディスクにフォーマット済みの領域が確保されていると、正しく再セットアップできません。「2台目の内蔵ハードディスクの内容を削除(Standby Rescue Multiモデル用)」を選択し、ハードディスクを未使用領域にした後に、再セットアップしてください。

1 「Windows 7の再セットアップを行います。」と表示されたら、注意事項をよく読んでから【Enter】を押す

2 「Windows再セットアップ」画面が表示されたら、「標準再セットアップする(強く推奨)」を選択し、【Enter】を押す

これ以降の手順は画面の指示に従ってください。

次に「Windowsの設定をする」(p.33)へ進んでください。

Windowsの設定をする

Windowsのセットアップを行います。

◎Windowsのセットアップ

『はじめにお読みください』の「6　Windowsのセットアップ」をご覧になり、Windowsのセットアップを行ってください。

チェック!!

Windowsのセットアップが終了したら、いったん電源を切った後、『はじめにお読みください』の「使用する環境の設定と上手な使い方」をご覧になり、必要に応じて各種の設定などを行ってください。

次に「◎各アプリケーションを再インストールする」へ進んでください。

◎各アプリケーションを再インストールする

ご購入時に以下のアプリケーションがインストールされていた場合は各アプリケーションを再インストールしてください。

- Office Personal 2007
- Office Personal 2007 with PowerPoint 2007
- Office Professional 2007
- Roxio Creator LJB

再インストールの方法は『活用ガイド』の「アプリケーションのインストール/アンインストール」、または『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」をご覧ください。

次に「◎ご購入後に行った設定をやり直す」へ進んでください。

◎ご購入後に行った設定をやり直す

ご購入後に行った設定は、再セットアップによってすべてなくなります。再度、設定し直してください。別売の周辺機器がある場合は接続して設定し直してください。ネットワークの設定なども再設定してください。また、本機に添付していたアプリケーションや別売のアプリケーションをインストールしていた場合も再インストールしてください。

以上でWindows 7の再セットアップは終了です。

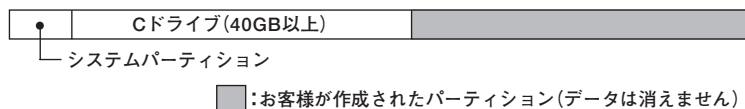
Cドライブのみを再セットアップする

Cドライブのみを再セットアップする

1台目の内蔵ハードディスクにあるお客様が作成されたパーティションのデータを残したまま再セットアップする場合に使用します。

●	Cドライブ(40GB以上)	

└ システムパーティション

■:お客様が作成されたパーティション(データは消えません)

チェック!!

- システムパーティション、およびCドライブが存在しない状態では、この方法で再セットアップすることはできません。
- Standby Rescue Multiモデルをお使いの場合、2台目の内蔵ハードディスクにフォーマット済みの領域が確保されていると、正しく再セットアップできません。「2台目の内蔵ハードディスクの内容を削除(Standby Rescue Multiモデル用)」を選択し、ハードディスクを未使用領域にした後に、再セットアップしてください。

1 「Windows 7の再セットアップを行います。」と表示されたら、注意事項をよく読んでから【Enter】を押す

2 「Windows再セットアップ」画面が表示されたら、「Cドライブのみを再セットアップする」を選択し、【Enter】を押す

これ以降の手順は画面の指示に従ってください。

ユーザー名とコンピューター名を入力する画面が表示されたら、これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。

「標準再セットアップする」の「Windowsの設定をする」(p.33)へ進んで、その後の操作を行ってください。

PART

2

付　録

この章の読み方

「再セットアップ用ディスク」の作成/購入、本機を譲渡、または廃棄する場合のハードディスクデータの消去方法について説明しています。
目的にあわせて該当するページをお読みください。

この章の内容

「再セットアップ用ディスク」を作成/購入する

「再セットアップ用ディスク」を作成する

◎注意事項

- DVD-Rに書き込み可能なドライブを搭載したモデルの場合は、ハードディスクに保存されている「再セットアップ用データ」を使用して、「再セットアップ用ディスク」を作成できます。
  なお、「再セットアップ用ディスク」は、本機にプリインストール、および添付されているRoxio Creator LJBとご購入時にセレクションメニューで選択した光学ドライブを使用して作成してください。
- 「再セットアップ用ディスク」の作成機能は出荷時の製品構成でのみサポートしております。「再セットアップ用ディスク」の作成は、アプリケーションのインストール、Service Packの変更、Roxio Creator LJBのアップデートをする前に行ってください。
- この操作は管理者(Administrator権限を持つユーザー)で行ってください。
- 「再セットアップ用ディスク」の作成には、約1時間30分かかります(モデルやご使用になる媒体によって異なります)。
- 「再セットアップ用ディスク」作成中に「This action cannot be completed because the other application is busy. 」と表示された場合は、「Retry」ボタンをクリックしてください。
  このメッセージが表示された場合でも、作成した「再セットアップ用ディスク」は問題なく使用できます。
- 作成した「再セットアップ用ディスク」は大切に保管し、レーベルには「再セットアップ用ディスク」と書いておいてください。

◎「再セットアップ用ディスク」作成前の準備

・「再セットアップ用ディスク」の作成にはDVD-R媒体が1枚必要です。DVD-R以外の媒体では「再セットアップ用ディスク」は作成できませんのでご注意ください。
・「再セットアップ用ディスク」の作成を始める前に次のことを行ってください。
  - 別売の周辺機器を取り外す
  - Roxio Creator LJBがインストールされていない場合はインストールする
  - 常駐しているアプリケーション、または起動中のアプリケーションを終了させる
  - 省電力機能の設定を解除する

なお、VersaPro/VersaPro Jをお使いの場合は、バッテリ駆動では「再セットアップ用ディスク」を作成することはできません。必ずACアダプタを接続しておいてください。

◎「再セットアップ用ディスク」の作成

1 **「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「ツール」→「再セットアップ用ディスク作成」をクリック**

2 **「再セットアップ用ディスク作成」画面が表示されたら、「スタート」ボタンをクリック**

これ以降の操作は、画面の指示に従ってください。

以上で「再セットアップ用ディスク」の作成は終了です。

「再セットアップ用ディスク」を購入する

「再セットアップ用ディスク」を紛失したり破損したりした場合はご購入いただけます(有償)。

お買い求めの際は、以下の「PC98-NXシリーズ　メディアオーダーセンター」のホームページにアクセスしてください。

PC98-NXシリーズ　メディアオーダーセンター

http://nx-media.ssnet.co.jp/

ハードディスクのデータ消去

ハードディスクのデータ消去について

チェック!!

DVD

『はじめにお読みください』をご覧になり、周辺機器を取り外してご購入時と同じ状態にしてください。

本機のハードディスクのデータを消去することができます。
ハードディスクに一度記録されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、フォーマットしても復元できる場合があります。このメニューを選択すると、OS標準のハードディスクのフォーマット機能では消去できないハードディスク上のデータを消去し、復元ツールで復元されにくくします。
本機を譲渡、または廃棄する場合にご利用ください。
本機を譲渡、または廃棄する場合は、『活用ガイド』、または『活用ガイド ソフトウェア編』「トラブル解決Q&A」の「譲渡、廃棄、改造について」もあわせてご覧ください。

チェック!!

- ハードディスクのデータ消去には光学ドライブが必要です。
  CDレスモデルをお使いの方は、別売の光学ドライブを使用してください。
- ハードディスクのデータ消去を実行する前にBIOSセットアップユーティリティの設定値を工場出荷時の状態に戻してください。
  工場出荷時の設定値に戻す方法については、『活用ガイド』、または『活用ガイド　ハードウェア編』の「システム設定」をご覧ください。
- RAIDモデルにおいてハードディスクのデータ消去を行う場合、ミラーリングが正常に設定されている必要があります。ハードディスクのデータ消去作業に入る前にディスクアレイ情報を確認してください。
  ディスクアレイ情報の確認、およびディスクアレイの状態変更方法については、『活用ガイド』の「「Intel® Rapid Strage Technology」について」にある「再セットアップ前の注意事項」をご覧ください。

消去にかかる時間は、消去方式やハードディスクの容量、モデルによって異なります。
また、ハードディスクのデータ消去方式は次の3つの方式があります。

・ かんたんモード(1回消去)
  ハードディスク全体を「00」のデータで1回上書きします。

・ しっかりモード(3回消去)
  米国国防総省NSA規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去を行います。
  ランダムデータ1、ランダムデータ2、「00」のデータの順に3回書き込みを行い、3回消去を行うことで、より確実に消去できます。ただし、3回書き込みを行うため、かんたんモードの3倍の時間がかかります。

・ しっかりモードプラス(3回消去+検証)
  米国国防総省DoD規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去を行います。
  「00」、「FF」、「ランダムデータ」の順に3回書き込みを行い、最後に正常にランダムデータが書き込まれているかを検証します。3回消去を行うことで、より確実に消去できます。

なお、この方法でのハードディスクのデータ消去は、データの復元が完全にできなくなることを保証するものではありません。データの復元が完全にできないことの証明が必要な場合は、NECフィールディング株式会社に有償のデータ消去を依頼してください。

NEC フィールディングホームページ
  URL: http://www.fielding.co.jp/

ハードディスクのデータを消去する

1 本機の電源を入れる

2 電源ランプがついたら、すぐに「アプリケーション/マニュアルディスク」を光学ドライブにセットする

3 「Windows再セットアップ」画面が表示されたら、「ハードディスクのデータを消去する」を選択し、【Enter】を押す

4 「ハードディスクのデータを消去します。よろしいですか？」と表示されたら、「はい」を選択し、【Enter】を押す

5 データを消去するハードディスクを選択し、「次へ」ボタンをクリック

6 ハードディスクのデータ消去方式を選択して、「実行」ボタンをクリック

7 「ハードディスクのデータ消去を開始しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック

8 「ハードディスクのデータ消去が完了しました。」と表示されたら、光学ドライブから「アプリケーション/マニュアルディスク」を取り出し、【Enter】を押す

以上でハードディスクのデータ消去は終了です。

活用ガイド

再セットアップ編

PC98-NX シリーズ

Mate
Mate J
VersaPro
VersaPro J

（Windows 7 Professionalインストールモデル）

初版　2009年12月
NEC
853-810602-375-A
Printed in Japan

810602375A

このマニュアルは、再生紙を使用しています。